



## ●事業の概要

### 来訪者管内移動の利便性向上(概要)

#### ○目的

オホーツク管内の目的地に移動するため乗用車を選択するユーザーに対して、JR利用とセットで2次交通を提案し、公共交通利用へ転換を図ることにより都市間輸送の強化を図る。

#### ○事業概要

石北本線きっぷと引換で、北見バスと網走バスのフリーパス購入者に対し1,000円割引販売

#### ○事業期間

令和7年1月6日～31日

#### ○目標

石北線特急利用者数88名増

<助成実施期間における昨年度同時期(2024年1月)の石北線特急列車利用者数(439人)×20%>

#### ○申請者数

57名(北見バスフリーパス:28名 あばしりバスフリーパス:29名)

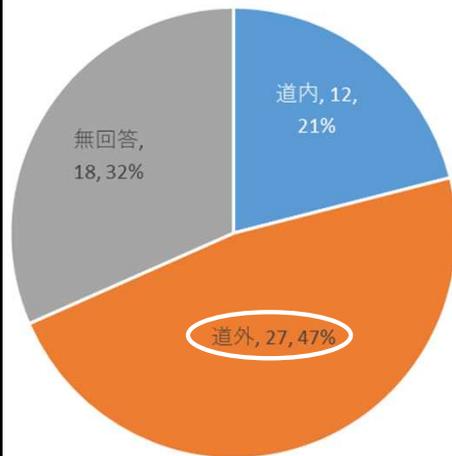
#### ○目標達成状況

石北線特急利用者数551名で、対前年同期間(2024年1月)比において112名増となり目標達成。

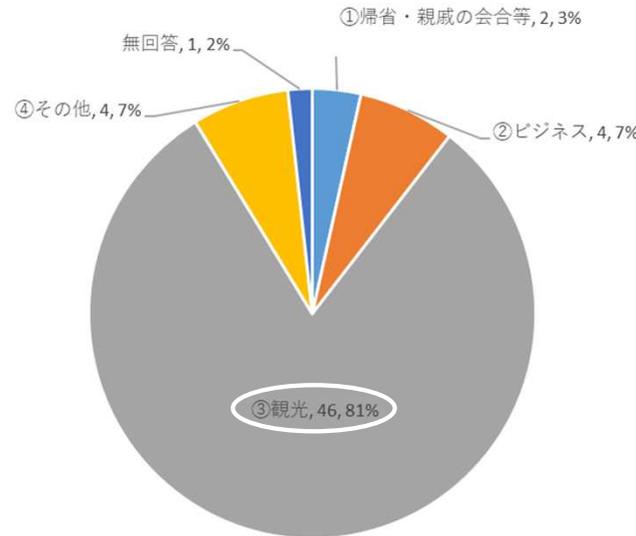
## ●事業の結果概要

### 来訪者管内移動の利便性向上(結果)

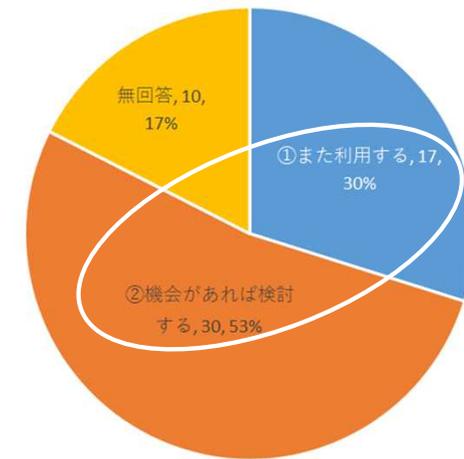
#### ○アンケート調査結果



申請者の居住地について



来訪の目的について



この組み合わせ割引をまた利用したいか

- ・来訪者の半数以上が道外からであり、ほぼ三大都市圏である東京、大阪、名古屋からであった。また、目的としては、観光が8割を占めている。
- ・この組み合わせ割引は、また利用したい・機会があれば検討するという方がほとんどであった。

- 以上のことから、バスフリーパスの利用促進については、道外、海外の観光客にとって利用しやすい仕組みの構築が必要であると考えられる。

## ●事業の概要

### 都市間移動の利便性向上(概要)

#### ○目的

定時性の高い鉄道とフリークエンシーのあるバスの利点を組み合わせることにより、多様な移動ニーズに応え、マイカーから公共交通への転移を促し、公共交通全体の利用者底上げを図るとともに、今後に向けた課題等を抽出し、さらなる利用促進に繋げる。

#### ○事業概要

管内と札幌への往復利用の際、片道JR、片道都市間バス利用者に対し4,000円助成

#### ○事業期間

令和7年1月6日～31日

#### ○目標

石北線特急利用者数88名増

<助成実施期間における昨年度同時期(2024年1月)の石北線特急列車利用者数(439人)×20%>

#### ○申請者数

197名(北見市:107件 網走市:20件 遠軽町:53件 大空町:5件 美幌町:12件)

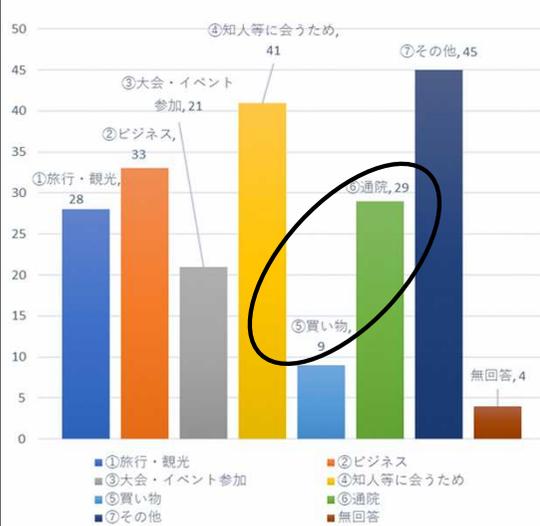
#### ○目標達成状況

石北線特急利用者数551名で、対前年同期間(2024年1月)比において112名増となり目標達成。

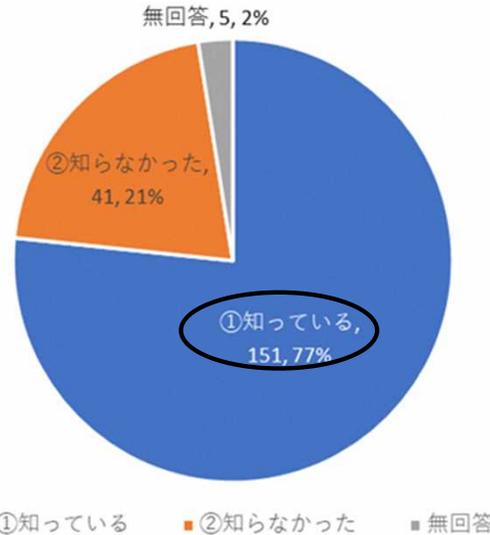
## ●事業の結果概要

### 都市間移動の利便性向上(結果)

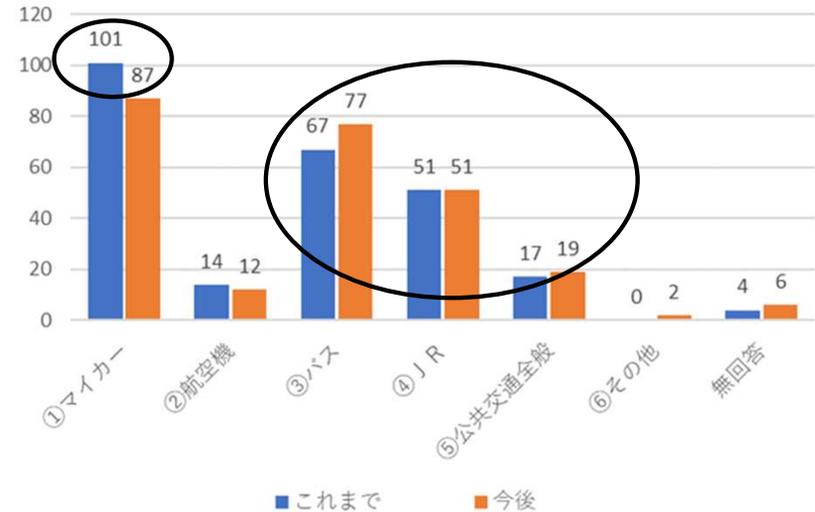
#### ○アンケート調査結果



今回の移動の目的について



えきねっと「トクだ値」について



これまでの移動方法とこれからの移動方法について(夏季)

- ・都市間交通の目的として、観光やビジネスだけではなく、生活利用者も多いことからどの目的の方にも利用しやすいよう考慮することが必要であると考えられる。
- ・JRのえきねっと「トクだ値」について、8割近くの方が認知し、お得感を感じているが、購入しやすさの面で高評価が少なかったことから、より購入しやすい仕組みづくりが求められる。
- ・今回の事業を通し、これまでマイカーを選択していた方が、減少し、公共交通を選択する人が増えた。

- 以上のことから、JRとバスが連携した取組を進め、総体としての本数を維持することで、公共交通の利便性の向上を図っていくことが必要であると考えられる。

## ●事業の今後の改善点(特記事項含む)

### ○来訪者管内移動の利便性向上

- ・鉄道利用後の目的地までの2次交通としてのバスの利用ニーズがあることを確認した。
- ・車移動からの転換を図るための2次交通との連携による利用者増加策を検討・実施する。

### ○都市間移動の利便性向上

- ・都市間移動における鉄道と都市間バスの組み合わせにより選択肢が増えることが利用促進につながることを確認した。
- ・一方で割引施策を継続的に行う方策や、マイカーからの転換を一層促進するための方策について更なる検討が必要であることなど石北本線が抱える課題等を確認した。
- ・鉄道とバス等のさらなる相互連携による地域住民等の都市間移動の利便性向上策を検討・実施する。

## ●事業実施の適切性

計画通り適切に実施された。

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は計画どおりに実施されている。
- ・来訪者管内移動の利便性向上について、さらなる車移動からの転換にむけて、より具体的な測定方法や目標設定について、詳細にご検討いただきたい。
- ・都市間移動の利便性向上について、割引施策の継続的な実施方策「マイカーからの転換促進策」「鉄道とバスの具体的な相互連携策」といった課題に対する具体的な施策について、深くご検討いただきたい。
- ・今後、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築に向けて取り組んでいただきたい。